

第3回総合計画審議会での議論

(日時) 令和2年2月6日(木) 午後6時30分～午後8時45分

(会場) 袋井市総合センター 4階 大会議室

(内容)

- ①後期基本計画(素々案)について
- ②(情報提供)第2次総合計画「後期基本計画」策定に向けた「総合計画座談会」の開催について



(意見等)

○人生100年時代の到来により、定年の延長など高齢者の就労が進む中、共働き世帯は子育ての支援を祖父母に頼ることが難しくなる。今後はそのような観点から子育て支援を考えていくことが必要ではないか。

○「外国人」という言葉は、統計上の表現と生活としての表現は分ける必要があるのではないか。日本で生活している人という点では日本人と同じであり、区別は適当ではない。多様性を活かしていく社会の実現に向けて、どのような表現が適当なのかを議論することが必要ではないか。

○市内事業者への支援という点からは、ただ徒に市民が求める市内に無いサービスを追求するよりも、事業者が行うサービスがさらに市民にとって豊かなものになるような支援をしていくことが重要ではないか。様々な分野や人が連携・協力し、袋井市のライフスタイルを創っていく取組を考えていってはどうか。

○女性が「どのように働き子育てをしたいのか」を考えて政策立案を行うことが大切。特に子育て期は学びを深める期間であり、自助力を養うためにもいかに子育ての時期に時間や余裕を確保できるか。男女問わずフルタイムではなく緩やかな働き方を支援することが必要ではないか。

○生活習慣病の発見や予防などにビックデータの活用が進んでいる。今後、個人の健康情報を自ら管理できることが進めば、より効果的に健康への分析や政策立案ができるのではないか。

○経済低成長の時代にどうしていくか。0から1を目指すのではなく1+0などの組み合わせ、異業種異分野の交流が重要。ICTの活用についても、自らが実際に体験することで課題が抽出されるのではないか。

○地震や水害などの災害対策は発災後の対応(災害関連死の防止)も含め一体的に考えるべきではないか。